

4. 視覚障害者が主体的に運営するサッカーチームの活動をサポート

グループ名 大阪ダイバズ サポーターグループ
代表者 藤井 剛

活動の目的

在阪の視覚障害者サッカーチームの活動とその継続的な発展をサポートし、時には共にプレイすることで視覚障害者と晴眼者とが交流と理解とを深めることの出来る場所をつくりだす。

視覚障害の有無を問わず、新規加入者や初心者が気軽に参加し易く、且つ、上級者がより高いレベル(国際試合出場等)の目標を持って継続的に活動できるような環境づくりを、経済面、精神面、安全確保の面で支援する。

活動概要

「サッカーを通して一人でも多くの視覚障害者に自信と生きがいを持ってもらいたい」と言う大阪ダイバズの総監督さんの思いに共感し、チームのサポーター活動をしています。関東地区では比較的活動の盛んな視覚障害者サッカー(ブラインドサッカー)も、関西地区では慢性的な選手不足に悩む状況が続いており、先ず競技の魅力を更に多くの人に知ってもらうこと、そして、競技を続けたいという思いを継続できる環境を作る事が、何よりも大切だと考えています。

練習は主に日曜日の夕方に公園の空いた場所を利用して行っています。視覚障害の程度に関わらず、アイマスクを着けて行う競技であるため、安全確保の為に出来るだけ、体育館やフットサルコートなどを借りて練習できるよう、練習場所(費用が安く、安全性の高い場所等)に関する情報収集を支援していますが、フットサルのできる場所自体が少なく、なかなか適当な場所が確保できない状況です。

練習の際のサポートとしては、最寄駅から練習場所への誘導や、衝突防止やゴールの位置等を知らせる声掛けの他、ゴールキーパーや選手としても練習に参加します。少人数で効果的な練習が出来るように、人の声掛け以外にも音のなるもの(ラジオや携帯電話など)を置くなど、選手達の創意工夫により練習しています。

試合の際には、練習の際と同じサポートのほかに、試合会場の設営や試合の審判なども務めます。

関西の3チームによる対抗試合が、それぞれのチームの所在地(兵庫、京都、大阪)で持ちまわり開催される他に、全国のチームが一堂に会しての日本選手権大会が年に1回、東京で開催されるので、単独での移動が不安な選手には、道中の介助者としてサポーター

が同行することもあります。

チーム所属選手の大部分は大阪府下に在住ですが、近隣の他府県に在住の選手も所属しており、平日に練習する場合は学校や会社の帰りに練習場所（または最寄の駅等）に集合します。練習には大阪市内の公園を主に利用しています。多府県のチームと合同練習で練習できるときには、障害者スポーツ施設などを利用することもあります。チーム単独では人数不足の為に、これらの施設は利用できない状況です。

対抗試合については既述の通り、東京や関西3府県内で、主に屋外の運動場やフットサル場に会場を設営して実施します。

新規メンバー募集の為に広報活動は、選手が作成する公式ホームページの公開や、盲学校や視覚障害者訓練施設、選手各自の職場等において、口コミやポスター掲示などによって行っています。

所属選手の技術レベルは、全日本の選抜選手から、全くのスポーツ初心者まで様々ですが、なにより楽しむことを大切にしており、サッカー以外でも皆で集まって遊びに行くなど、和気あいあいとした雰囲気の良いチームです。

我々サポーターは、以上のような選手主体の活動を、支援というよりも協力・共同を意識して行っています。

決算報告書

収入	大同生命厚生事業団助成金	120,000-
支出	練習用具購入代金 (ブラインドサッカー用ボール) セレッソ大阪から寄贈 平成20年11月23日	0-
	練習用コート等使用料 (大阪中央体育館 平成20年12月14日)	20,000-
	遠征帯同旅費の一部支援 (選手4名、大阪 仙台)	80,000-
	(サポーター1名、大阪 仙台) 第7回視覚障害者サッカー日本選手権B1大会 平成21年1月11-12日	20,000-
	支出合計	120,000-

平成20年度 関西地区リーグ戦 開催状況



第7回視覚障害者サッカー日本選手権B1大会(準優勝)



全身全霊 ボール集中

第5回
日本視覚障害者サッカー選手権 B2/3 大会

日程 平成20年12月20日(土)・21日(日)

会場 兵庫県立障害者スポーツ交流館

〒651-2181 兵庫県 神戸市 東灘区 港島1丁目10-70
総合リハビリテーションセンター

主催 日本視覚障害者サッカー協会 (JDFVA)
兵庫県社会福祉事業団 総合リハビリテーションセンター

主協賛 兵庫県視覚障害者サッカー協会

協賛 兵庫県、神戸市視覚障害者サッカー協会
兵庫県障害者スポーツ協会、神戸市障害者スポーツ協会
兵庫県障害者スポーツ協会の協議、兵庫県視覚障害者スポーツ連盟

協賛 兵庫県がいの若者サポートセンター (SOS Project)、西宮学院福祉大学

スポンサー アディダス株式会社、三井物産株式会社、アサヒ飲料、住友設計

協賛 アサヒ飲料株式会社、アサヒ飲料ロック・ジャパン株式会社
株式会社びわかのソフトディング、ロート製薬株式会社、株式会社ピースマイン

スリープログループ株式会社、株式会社イデアインターショップ

協賛 株式会社 阪神、株式会社 中環社 (兵庫県立障害者スポーツ交流館)
(TEL) 078-927-2727

我々サポーターグループでは、B1(全盲)チームの大阪ダイバングの支援と同時に、昨年夏に結成されたばかりのB2/3(弱視)チーム、バレッティ大阪の支援活動も行っています。上は支援活動の一環として作成したもので、バレッティ大阪が初めて参加した公式戦の広報ポスターです。